

講義コード	11C0112400	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	田中 有紀	開講期	第2期
科目名	中国語で学ぶ現代中国2					田中 有紀	第2期		
履修前提条件						備考			
授業の目的	この授業は、すでに1年半中国語を学習した人（1年次に中国語を履修し、「中国語で学ぶ現代中国1」を履修した人）を対象とする、中級中国語の授業です。初中級レベルの文法や会話表現は習得していることが前提であり、この授業では中級レベルの文法を学ぶと同時に、中国で生活するのに困らないレベルの会話を習得します。現代中国社会の様々な問題を扱うテキストを用いますので、中国の日常生活や文化、政治・経済の問題についても理解を深めることができます。								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・中級レベルの中国語文法を習得できる。 ・中級レベルの中国語会話を習得できる。 ・中国語で書かれたニュースなどを、辞書を使って詳細に説明できる。 ・中国語検定3級レベルの内容を理解できる。 ・現代中国社会への理解を深め、東アジアの国際人として社会に寄与できる。 								
授業外学修内容・授業外学修時間数	<p>【第1回】【第2回】：すでに学修済みの文法の復習（教材配布）を行ってください（120分×2回）。</p> <p>【第1回】～【第15回】： 授業中に毎回、課題を提示しますので、次の授業までに解いておいて下さい（60分×15回）。 教科書に付属しているCDを聞き、CDと同じスピード、正確な発音で読めるようにして下さい（60分×15回） 小テストを5回行ないますので、そのための予習を行なって下さい（120分×5回）。</p> <p>期末試験のために復習を行って下さい（16時間）。</p> <p>以上をあわせて、この授業では合計60時間以上の授業外学修時間が必須です。</p>								
授業計画	<p>【第1回】 授業ガイダンス</p> <p>【第2回】 学修済みの文法の復習</p> <p>【第3回】 第7課 北京での買い物 本文、文法 「只要～就～（～でさえあれば～）」、「又～又～（～であり～である）」、様態補語</p> <p>【第4回】 第7課 北京での買い物 練習問題</p> <p>【第5回】 第8課 贈り物で気を付けること 本文、文法 疑問詞の連用、「为什么（なぜ）」、「好像～一样（まるで～のようだ）」</p> <p>【第6回】 第8課 贈り物で気を付けること 練習問題</p> <p>【第7回】 第9課 中国式の結婚 本文、文法 把構文①、「被（～に～される）」、「既然～，就/也（～である以上～）」</p> <p>【第8回】 第9課 中国式の結婚 練習問題</p> <p>【第9回】 第10課 共働きの家庭 本文、文法 可能補語、「让（～に～させる）」、「不但～，还（～だけでなく～でもある）」</p> <p>【第10回】 第10課 共働きの家庭 練習問題</p> <p>【第11回】 第11課 中国人の呼称（長幼の順序とメンツ） 本文、文法 「不是～，而是～（～ではなく～だ）」、「在～看来（～が見たところ）」、「甚至（さらには～）」</p> <p>【第12回】 第11課 中国人の呼称（長幼の順序とメンツ） 練習問題</p> <p>【第13回】 第12課 大学生の理想の職業 本文、文法 「怎么也（どうしても～ない）」、把構文②、比較</p> <p>【第14回】 第12課 大学生の理想の職業 練習問題</p> <p>【第15回】 復習と会話能力試験</p>								
成績評価の方法	小テストや授業における課題の取り組み（60点） 期末試験（40点）								
フィードバックの内容	宿題の添削と小テストの解説によってフィードバックを行います。								
教科書	『知っておきたい中国事情』吉田泰謙、相原里美、葛嬌（白水社）2014								
指定図書									
参考書									
教員からのお知らせ									
オフィスアワー	金曜3限（2号館2階218研究室）にて質問を受け付けます。 また、メール（tanaka.yuki@rissho-univ.jp）でも質問を受け付けます。								
その他									